ご挨拶

鳥羽市自治会連合会は、結成 50 年の節目の年を迎えることができました。

これまで活動を担っていただいた先輩諸氏や、支援していただいた市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

鳥羽市自治会連合会は、鳥羽市誕生より 20 年以上遅れて昭和 51 年に、地域住民の連携や福祉の向上、安全で安心な豊かな地域づくりを目指して発足しました。

当時は、安楽島大橋が完成し、中央公園の体育館や相撲場で国民体育大会が開催されるなど、多くの施設整備と併せたイベント開催や高丘町の誕生など、住宅地の拡大により、活気に満ちた時期でもありました。

一方で、８町村の住民が市民として協調・共同して町づくりに取り組むために、先輩役員諸氏には大変なご尽力をいただいたことと拝察いたします。

昭和 34 年をピークに人口は減少していきましたが、連合会の発足当初の目的は不変です。社会情勢や気候変動などにより、さらに多くの役割が求められるようになりました。

特に近年は異常気象により集中豪雨や土砂災害などが局所的に多発、激甚化しています。いつ、どこで発生してもおかしくない状況です。

さらに、最も心配されるのは南海トラフ地震です。今後 30 年以内に 90%程度での発生が想定されています。鳥羽市では大きな津波が襲来し、甚大な被害が出る可能性があります。人口減少と高齢化の進む中ですが、誰一人取り残さない、犠牲者を少なくするために、共に助けあう「共助の担い手」を増やす活動が求められています。

同時に、防犯や高齢者･児童の見守り、環境美化などの幅広い活動を通して良好な地域社会の形成にも努めなければなりません。

鳥羽市自治会連合会は、多くの皆様のご支援ご協力のもと 50 周年の節目の年を迎えることができました。今後とも、市民の皆様のニーズや社会の要請に対処しながら、会員相互の情報交換や研修を重ね、市民の皆様の幸福実現のために組織全体で取り組みます。

感謝の想いを胸に、市民の皆様の願いや創設時の目的をしっかりと受け継いで、100 周年、さらにその先の未来に向けて、お役に立てるよう歩みを続けて参りますので、引き続きご支援ご指導を賜りますことをお願いして、お礼のご挨拶とします。

鳥羽市自治会連合会
会長　齋藤　陽二